



# プランを確認する!

それぞれの契約プランで

**建物と家財** **建物のみ** **家財のみ**

が選べます。P.17をご参考 照ください。

補償内容の詳細は[こちら](#) >



賃貸住宅にお住まいの方は **THE 家財の保険**



にご加入ください。

大家さんに対する法律上の損害賠償責任を補償する借家人賠償責任補償が自動セットされた商品です。  
詳しくはTHE 家財の保険のパンフレットをご参照ください。

## 「損害保険金」補償内容 ご希望の補償範囲に応じて6つの契約プラン<sup>(注1)</sup>をご用意しました。

事故の区分	補償内容	事故例		ベースック(I型)	ベースック(I型)水災なし	ベースック(II型)	ベースック(II型)水災なし	スリム(I型)	スリム(II型)
		建物 <sup>(注2)</sup>	家財 <sup>(注2)</sup>						
火災、落雷、破裂・爆発	火災、落雷、破裂・爆発による損害を補償します。			○	○	○	○	○	○
風災、ひょう、雹災、雪災	風災、雹災、雪災による損害を補償します。			○	○	○	○	○	○
水災	洪水や土砂崩れなどの水災(評価額の30%以上の損害、床上浸水)による損害を補償します。			○	補償されません	○	補償されません	○	補償されません
盗難による盗取・損傷・汚損	盗難によって盗取、損傷、汚損等による損害を補償します。			○	○	○	○	○	○
建物外部からの物体の落下・飛来、水濡れ、じょう、騒擾など	建物外部からの物体の落下・飛来・衝突、漏水などの水濡れ、騒擾・集団行動等を伴う暴力行為による損害を補償します。			○	○	○	○	○	○
不測かつ突発的な事故(破損・汚損など)	上記を除く、不測かつ突発的な事故を補償します。			○	○	○	○	○	○

選べる  
自己負担額



自己負担額0円・1万円・3万円  
を選択した場合のご注意



赤枠内の事故の自己負担額は、選択した自己負担額に関わらず5万円となります。

左記

参照

0円 1万円 3万円 5万円 10万円 3万円 5万円 10万円

(注1)保険の対象が「戸建ての建物(T、H構造)」の場合、水災補償が原則セットとなります。  
ベースック(I型)、ベースック(II型)、スリム(I型)をご選択ください。

1分できる  
クイック試算!

保険料は損保  
ジャパン公式  
ウェブサイトで  
簡単に試算で  
きます。

補償されません の場合、次のような事故で  
保険金を受け取ることはできません。

水災

お支払保険金例  
**152.7万円**

近年の異常気象の影響により、水災の事故は増加傾向にあります。  
実際に、これまで水災が発生しないような地域でも水災が発生しています。

突然の大雨、近くに河川が無くても…

●台風や暴風雨などにより土砂崩れが発生する可能性

●下水などが溢れる都市型の水災の可能性

将来の地球環境も予測が困難な状況であり水災の危険が確実に増しているといえる現代において、水災が補償されるプランをおすすめします。

※これらは事例であり、実際の事故によってお支払保険金の額は異なります。



保険金をお支払いする主な場合、保険金をお支払いできない主な場合は、P.15・16をご参照ください。

## 「費用保険金など」補償内容



THE すまいの保険には原則セットされます。  
ご希望により外すこともできます。



地震などによる損害が生じた場合に保険金をお支払いします。  
詳しくはP.5へ



ひとまわり大きな安心をプラス!  
(各種特約)



建物の「協定再調達価額」と「保険金額」が同額であるご契約には、建てかえ費用特約が自動セットされます。



臨時費用保険金  
損害保険金にプラスしてお支払いします。  
(いずれか選択してください。)  
損害保険金×10%  
(100万円または保険金額×10%のいずれか低い額限度)  
臨時費用保険金なし



全プラン共通で自動的にセット  
地震火災費用保険金  
地震などによる火災で損害が一定割合以上となった場合にお支払いします。



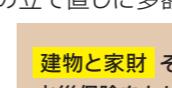
凍結水道管修理費用保険金  
建物の専用水道管が凍結によって損壊を受け、これを修理する場合の費用をお支払いします。



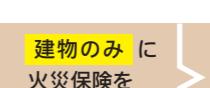
パッキングのみに生じた損害などは対象外です。  
損害防止費用  
消火活動のために費消、損傷した物の再取得に要する費用をお支払いします。



家具や家電製品などの家財(生活用の動産)は、建物とは別に家財を保険の対象としてご契約いただかなければ、損害を受けても保険金が支払われません。建物のみの補償だけでは、生活の立て直しに多額の費用が発生します。



建物と家財 それぞれに  
火災保険をかけた場合  
建物・家財 いずれも  
補償されます。



建物のみに  
火災保険をかけた場合  
建物 は補償されます。  
家財 は補償されません。

あなたとご家族の家財、いくらあるかご存知ですか?思っている以上に家財は高額です。

家財の新価の目安

(2023年4月現在)

家族構成	2名 大人のみ	3名 大人2名/ 子供1名	4名 大人2名/ 子供2名	5名 大人2名/ 子供3名	独身世帯
25歳前後	490万円	580万円	670万円	760万円	
30歳前後	700万円	790万円	880万円	970万円	
35歳前後	920万円	1,000万円	1,090万円	1,180万円	
40歳前後	1,130万円	1,220万円	1,310万円	1,390万円	
45歳前後	1,340万円	1,430万円	1,520万円	1,610万円	
50歳前後(含以上)	1,550万円	1,640万円	1,730万円	1,820万円	300万円

あなたの家財の金額は?  
3項目でかんたんシミュレーション



家財を保険の対象とした場合のご注意についてはP.18をご参照ください。